

2018. 4.22 No.57

発行人 河田正一
岡山市北区御津高津 874
☎086-724-0895
http://k.okjcp.jp/

河田正一

検索

ブログ



地域交通 拡充のために

バス路線を事業者が突然廃止すると発表し、住民に大きな不安を与えました。車を運転できない人でも、自由に動くことが住み続けられるためには欠かせません。河田正一市議は2月議会、公共交通のあり方について質問しました。そして、住民にとって使いやすいネットワークを考えました。

使いやすい効率的なネットワーク

- 1 JRや路線バスは、増便する。
- 2 コミュニティバスは、末端部を切り離し、主要部は便数を大幅に増やす。利用が少ない末端部は、デマンドタクシーにする。
- 3 デマンドタクシーとコミュニティバスは追加料金なしで乗り継ぎできる。
- 4 コミュニティバスのターミナルを設け、関係する路線は一斉にバスターミナルにそろうことで、乗り換えが待ち時間なしに行える。
- 5 スクールバス、社員送迎バス、介護タクシーへの便乗などの地域の民間交通手段を活用できるように、国に対し規制緩和を求め、住民の足を確保することを可能にする。



岡山市・玉野市・久米南町が共同で、新しいごみ焼却場を計画しています。焼却ごみの40%は、生ごみです。これを減らせば、焼却施設は小さくて済みます。河田正一市議の生ごみ堆肥化の提案に対し市は、住民の理解、回収コスト、堆肥の利用先が少ないと消極的な回答でした。モデル地区からでも実施することが必要と考えます。

今は廃プラを燃やさず

市政報告会 予定

4月28日(土) 10:00～
操南公民館 中区

5月10日(木) 14:00～
西大寺公民館 東区

5月12日(土) 14:30～
高松公民館 北区

5月23日(水) 13:30～
第2藤田学区内 南区

6月3日(日) 14:00～
北ふれあいセンター 北区

ゴミは 焼却から資源に

に油化し、軽油とガスの資源にすることができるとあります。また、

電に使用することで、ごみ処理費を大きく軽減できます。市は研究することを約束しました。

家庭ごみ処理は本来、市が税金で行うべき業務で、無料化すべきです。一方、事業系ごみは増え続けています。事業系ごみの処理手数料は、処理費用の約半分です。適正な手数料に値上げすべきと質し、市はしかるべき時に正すことを約束しました。

炭化し燃料として回収することもできます。資源化されたモノを売却や発

市民の協力で、生ごみ排出抑制、分別の徹底などでゴミ削減、資源化によって循環型社会を作りましょう。